◆其の百十三

実は私、神様なんです ～山家宿の恵比須石像～

山家八区公民館前の坂道を上っていくと、道端にえびす様が彫られた石像があります。

▲山家宿の恵比須石像（左）とトレース図（右）

えびす様といえば、七福神の一人として、豊漁、繁栄、繁盛の神様として信仰されています。その姿は、折れ曲がった烏帽子（えぼし）や平安時代の貴族の衣装の一種である狩衣（かりぎぬ）を身に着け、右手に釣竿、左手には鯛を抱えた絵で表現されていることが多いです。顔は丸々としており、大きな耳、立派な髭（ひげ）をたくわえ、満面の笑顔、見ているだけでご利益がありそうです。

しかし、山家宿の恵比須石像は、顔はスリムで、耳も大きくなく、髭も生やしていません。その姿は、神様というよりも写実的な人間に近いようです。このような特徴を持つえびす様が県内で確認されているのは、この石像だけです。

その姿からはご利益があるように感じないかもしれませんが、そこには何か特別な思いが込められているのかもしれません。一度、山家宿のえびす様を見て、人々の思いを想像してみてはいかがでしょうか。

問 文化財課

広報ちくしの
Chikushino No.1228
2025年5月号
発行／筑紫野市　編集／秘書広報課　ホームページ／https://www.city.chikushino.fukuoka.jp/
〒818-8686 福岡県筑紫野市石崎一丁目1番1号 ☎092(923)1111 FAX092(555)7377
印刷／久野印刷株式会社
発行部数／44,800部

筑紫野市公式SNS
フェイスブック　X(旧ツイッター)　LINE　インスタグラム